

彩りにこだわった創作料理を

今福町出身、太田黒敬さんが、すし技術発表会で金賞受賞。



金賞受賞作品



Interview 太田黒^{たかし} 敬 さん 和食料理人

太田黒敬さんが7月27日、東京ビックサイトで開催された全国すし商生活衛生同業組合連合会主催の「正統すし技術発表会」で、2番目の賞である金賞に見事輝きました。

4年に1度開催されるこの発表会はすし界のオリンピックともいわれ、今回は全国から選び抜かれた32人の料理人が腕を競う中での栄えある金賞受賞でした。

この人に
LOSE UP!
まつうら
輝キラリ
人

Q これまでの経歴を教えてください。

A 高校卒業後、調理師学校に進み2年間勉強しました。その後はハウステンボス全日空ホテル内の中国料理店で1年間働き、4年間「花月」で働きました。

Q 料理の道に進まれたきっかけは何ですか。

A 中学2年のころから料理に興味を持ち始め、高校は北松農業高校の食品科学科を選びました。高校では料理の面白さを再確認でき、自然と料理の道に進みました。

Q 今回の作品の作品名とテーマ、特に力を入れたところを教えてください。

A 作品名は「長崎^{あじさい}味彩菜」です。

長崎産の野菜をふんだんに使った野菜寿司をメインに作りました。いかにおいしく見せるか、彩りには特に気を使いましたね。

Q 金賞受賞の感想をお聞かせください。

A 金賞ではありましたが、まだまだだと感じました。

Q 夢や目標をお聞かせください。

A 今後も創作和食料理を勉強していきたいです。料理はまず視覚で楽しむものだと思いますので、味はもちろんです。彩りには特にこだわっていききたいと思います。



◎ PROFILE

太田黒 敬 さん

(今福町出身、25)

北松農業高校卒業。

現在「ベストウェスタンプレミアホテル長崎」内の和食レストランに勤務。

長崎市在住。

新しいALT ケン・ドブソン先生を紹介します！



ケン・ドブソン

Ken Dobson

オーストラリア出身

【訪問校】

養源小学校、福島小学校、福島中学校、上志佐小学校、御厨小学校

【出身大学】

クイーンズランド大学 (心理学/スポーツ学 専攻)

【趣味・興味があること】

ラグビー、ジム、スノーボード、カッコイイ車、ビーチで過ごすこと、良い本を読むこと

【メッセージ】

松浦の皆さんこんにちは。松浦に来るまでは、この地名を一度も聞いたことがありませんでした。だから、どんなところかとても心配しました。しかし、到着すると、温かい笑顔と温かい心に迎えられました。オーストラリアも美しいところですが、松浦もそうだと思います。私はここに来てとても嬉しいです。私は、ALTとしての仕事を頑張りたいと思うとともに、ここで多くのことを学びたいと思います。まちで私を見掛けたら、どうぞ声を掛けてください。よろしくをお願いします。



図書館の おすすめ本

市立図書館
☎ 0956-72-4677

松浦市ホームページで
「松浦市立図書館」を検索



『世界の島々』

パイインターナショナル

島に的をしぼり、選りすぐった美しい写真集が届きました。思わずため息が漏れる、海と大地の織り成す鮮やかなコントラスト。そして、個々の島の持つ独自性はページをめくる楽しみをくれます。この夏、旅行へ行けなかった人も世界の島巡り、癒しの旅を味わってみませんか？



『まりか先生のくらしの中の科学』

文化出版局

「チョコレートとガムをいっしょに食べたら…とけちゃった！」こんなことはありませんか？「マシュマロのふわふわは、何からできてるの？」答えはこの本の中に！科学って難しそう？苦手？いえいえ、くらしは科学であふれています。お料理やお手伝いが得意な人は科学が楽しく、科学が好きな人はお料理やお手伝いをしたくなる「不思議」の答えが詰まった本です。

◆◆◆あかちゃん・子どものお気に入り◆◆◆

このコーナーでは図書館に来てくれたあかちゃんや子どものお気に入りの1冊を紹介します。



志佐町浦免の望月朝子さんと淳ノ介くん
(6歳)、啓佑くん(4歳)、百花ちゃん(1歳)

【お気に入りの本】

『にんたまと11人のとうぞく』尼子騒兵衛/さく ポプラ社(淳ノ介くん)

『恐竜トリケラトプスとスピノサウルス』黒川みつひろ/さく 小峰書店(啓佑くん)

『おふとんかけたら』かがくいひろし/さく ブロンズ新社(百花ちゃん)

【お母さんからひとこと】

「6年前、長男が生まれてから絵本との新しい出会いが始まりました。3人の子どもの好みやとらえ方はそれぞれで、1冊の同じ本でも笑う場所、好きなページは全く違います。また、1冊の本を何度も繰り返し読む子、好きなページを必ず破る子、決まった作者の作品しか読まない子、一人一人に大人には分からないこだわりもあります。そんなこだわりを楽しみながら、今しか味わえない子どもたちとの一時を満喫しています。」

※図書館ではお母さんとあかちゃんの来館も大歓迎です！